

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3391100025 | | |
| 法人名 | 有限会社ふる里 | | |
| 事業所名 | グループホームふる里の家 | | |
| 所在地 | 備前市日生町寒河字梶谷2393-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年3月3日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ライフサポート | | |
| 所在地 | 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年3月10日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の理念でもある「食」に関して特に力を入れています。代表者は介護食士の資格を持っており、スタッフにも指導し、いつもめくもりのあふれた食事の提供に努め、ご入居者様の健康の維持に努めています。ふる里の家がご入居者様にとって「心」のふる里になれるよう、心を込めた介護をしています。またスタッフは、ご入居者様を自分の親のように、祖父母のように想い、チームワークのとれた思いやりにあふれたメンバーです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日生の港から少しはずれた所に新しいグループホームが20年末に開設し、現在楽しい19人の利用者の生活が始まっている。このホームは「食べる楽しみ」が特長で、毎日毎食日生の魚やかきを食材として美味しい食事が楽しめる。特に社長は介護食士という介護食の作り方を専門としている。利用者の皆さんは「ここで食べることが一番の楽しみ、おいしいご飯が食べられるよ」と言ってくれる。口腔ケアと体力維持のための運動を大切に、食べるための嚥下機能と動くための身体機能の維持に努めている。そしてお互いに思いやりとやさしい気持ちで接しながら、穏やかに和やかで楽しい日々を大切に暮らしていけるホームを目指している。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|--|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 日々目にする所に理念を書いたものを額に入れ掲示し、理念の共有に努めています。 | 代表者は職員内部研修や勉強会で理念について話し、日々の支援に活かす様伝えている。いつかは自分の通る道なのだから、残された時間を幸せに過ごせる様利用者に接し、居心地の良い場にしようと話し合っている。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 施設行事の案内をし、気軽に来て頂いています。町内会への参加をし、交流に努めています。 | 町内会に加入し、町内のごみステーションを使用し、回覧板も回ってきて町内の会合にも出席する等、一軒の家として地域と付き合い合っている。ホームの文化祭には地域住民も参加し、バザーの品を買ってくれた。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議や町内会の会合への参加等で、施設について理解して頂く様努めています。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 参加者様より頂いた意見は早急に取り入れ、サービスの向上に努めています。 | 民生委員・地域包括支援センター職員・自治会長・組長・地域住民・家族等が出席して2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。地域住民にも声を掛け、職員研修と運営推進会議を同時開催して、講師を招いて普通救命講習会を実施した。 | ホームは職員研修と運営推進会議を同時開催して、広く知識の伝達に努めている。今後は口腔ケアや介護食の勉強会もしたいと考えている。とても良い事なので、是非実現して欲しい。 |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議への参加を毎回お願いし、参加して頂いており、連携が図られています。 | 何かあれば市町村担当者に連絡して、指導・助言を受けている。市町村の研修等には必ず出席し、ホームの運営推進会議には毎回市町村担当者の参加がある等、よく連携出来ている。計画作成担当者はかつて包括支援センターで働いていたので、馴染みの関係にある。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 勉強会及びミーティング等で理解を深めるようにしています。 | 身体拘束をしないケアのマニュアルを作成し、外部研修にも出席して全職員で認識の共有を図っている。言葉遣い等にも配慮する様職員会議でも具体的に話し、自分の親だったらと考えて接する様に心掛けている。行き届いた見守りで、玄関施錠もなかった。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会が足りない部分があります。今後は勉強会等で理解と防止に努めます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在ご利用の方がおられないこともあり、認識不足です。今後は勉強会の開催を考えています。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は、十分な説明を行い、入居者様・ご家族様の不安や疑問点には丁寧にお答えするよう努めています。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議には、ご入居者様・ご家族様へ参加の依頼を行い、会議ではご意見ご要望をお聞きするようにしています。 | 入所時に出来たら週1回でも来てあげて欲しいと家族によく話しているので、家族の面会も多くコミュニケーションが取れている。運営推進会議に家族も出席しているので、公の発言の場も確保出来ている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 運営に関する意見は現在のところ出ていませんが、職員の意見、提案は話し合いを行っています。 | 毎月1回全員参加の職員会議を開催して意見交換し、“何でもノート”で情報伝達している。代表者も時にはシフトに入り現場で働いているので、実情をよく把握出来ている。職員達は皆仲良く明るい。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | やりがいのある職場作りに努めています。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修への参加及び資格取得支援に努めています。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 個人的に情報交換や他施設に見学などしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人のご要望を出来る限りくみ取るよう努めています。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご面会の際には、お茶やコーヒーやお菓子等を提供し、安心してゆっくりとお話ができる雰囲気作りを心がけています。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 生活歴、経済面等々、相手の立場に沿った支援を心がけています。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常の家事などできる事を職員とともに行って頂くようにしています。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様へ外出時の同行の依頼や行事への参加の声かけなど、共に支えていく関係を築いていけるよう努めています。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入居者様に来客がある場合は、一緒に過して頂く為、その方にあつた支援をしています。 | 近隣出身の利用者が多いので、病院受診したら同級生に会い、利用者同士が元同僚だったり等、あちこちで懐かしい出会いがある。散歩で自宅前を通ったり、馴染みの美容院へ行く等、日常的に馴染みの人や場と接している。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションでは全員に声かけを行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご家族様やご本人の負担にならない程度に行うようにしています。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご入居様様の気持ちに寄り添い援助できるような心がけています。 | 代表者は常々「時間があれば1日5分でも良いから利用者とマンツーマンで話をしよう」と職員に伝えている。職員は利用者との時間を大切に思う認識があり、あちこちで利用者とは話す職員を見た。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 深く立ち入れない部分もありますが、把握に努めています。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活の中で観察を行い、心身状態や現状の把握に努め、職員全員で情報の共有に努めています。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月1回カンファレンスを行い、ケアの見直しを行っています。ご家族様の要望もケアプランに反映するよう努めています。 | 本人・家族から計画作成担当者がよく話を聞き、情報を職員に伝え、入所して2～3週間生活の様子を見て、全員で相談しながらプランを作成して検証し、必要に応じてプランを見直している。 | プランは目標を高くするのではなく、その人の生活をベースに具体的な項目を挙げて、日々実行するものであるとの認識を基に様式を検討中である。プランに対する考え方がしっかりしており、今後が楽しみだ。期待している。 |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録の記載を行い、気づきやご本人の様子なども記載しています。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その時々のご要望に応じ、対応するよう努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の季節行事には出来るだけ参加するよう努めています。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | いつでも相談できる主治医がおり、月2回往診してもらっています。 | 基本的には家族に受診支援をお願いしているが、緊急の場合や家族の都合がつかぬ時はホームでも受診支援しているので、主治医との関係は構築出来ている。何かあれば何時でも対応して貰える協力医も確保している。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 現在看護師はいませんが、不安や疑問点があれば主治医に相談しています。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入、退院時の情報交換は蜜に出来るよう、時間の許す限り、入院先の病院へ来院するように努めています。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご本人の状態において、ご家族様と十分な話し合いの場を設けています。 | 本人・家族の強い希望があり、医療的な問題もなく、主治医や家族の協力が得られるならば、人間らしく自然に送ってあげられる様、悔いのない介護をしようと職員共話し合っている。ホームは開設してまだ日も浅いが、既にターミナル支援を経験している。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 月1回の勉強会で理解と実践力を養うよう努めています。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 緊急連絡網を掲示しています。また避難訓練を実施していますが、十分ではないので今後要検討し、行っていきたいと考えています。 | 緊急時のマニュアルや連絡網を作成し、火災通報装置も設置した。利用者も参加して、避難訓練を実施し、居室の窓が低いので、いざという時は布団を外に投げて利用者に出て貰おうと話合った。自治会長に近隣の協力もお願いしている。 | 夜間想定での避難訓練も実施し、地元消防団や消防署の協力を得て、専門的見地に立った指導・助言を仰いでみても良さそうだ。運営推進会議の議題にして、皆で相談してみよう。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライバシー保護に関する書に職員全員に誓約書に捺印、署名を交わしています。尊重を損ねない対応を心がけています。 | 「触らぬ蜂は刺さない」利用者に昔からの言い伝えを教えて貰って「成る程！昔の人はええ事言う」と職員が感心する。「利用者から教えて貰う事は多い。利用者が先生のともりで接するように」代表者はいつも職員に伝えている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 安全に配慮し、出来る限りの支援をしています。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 希望に添った援助を心がけています。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 清潔な身なりでおられるよう、又その人らしく過せるように支援しています。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立は季節のものや地元の魚などを取り入れ、ご入居者様にもアドバイスをもらい、できる方には手伝っていただくこともあります。 | ホームの畑や職員の家の収穫物や家族の差し入れ等も、活用した地産地消の新鮮な食材で、調理専門の職員が腕をふるう美味しい食事は、当ホームの自慢だ。ミキサー食の人にもそれぞれの料理毎に器に盛り、異なる味を楽しんで貰う優しい配慮があった。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの状態にあった食事の提供に努めています。きざみ、とろみ等の調理方法をしています。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 歯磨きやうがいなど一人ひとりに応じて支援しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 定期誘導の他に、その人に合った声かけを行っています。 | 各自の排泄パターンを把握し、タイミングを見て声を掛け、トイレ誘導出来ていた。病院では昼間は紙パンツとパット・夜はオシメと大小パットだった人がホームに来て、日中は布パンツとパットでトイレに行き、夜間は紙パンツとパットでポータブルトイレ使用になる等、改善事例もある。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便チェック表で職員全員が把握して適切に行っています。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 大体の曜日を決めています、その日の状態によりご希望に添うように対応しています。 | 必要に応じて何時でも入浴出来るが、冬は週2回・夏場は週3回入浴して貰う様支援している。窓を配した造りで明るい感じがする家庭的な浴室で、リフトを設置しているので、重度化しても対応出来る。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 安眠や休息はご本人の気持ちに配慮しています。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人ひとりの薬の情報を職員全員把握するよう努めています。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 役割やより多くの楽しみごとを見出せるよう心がけています。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 一人ひとりに添った外出支援を行っています。法事、墓参り、外食等ご家族様と協力して行われています。 | 「お天道様に1日1回はあたりましょう」と広い敷地内の畑や周辺散歩等、日常的に外気を楽しんでいる。初詣・花見・紅葉狩り等、季節の行楽以外に、風光明媚な土地柄を生かしてドライブや外食等、フットワークの良い外出支援を行っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|------------------------------------|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族様と相談の上、現在は所持されている方はおられません。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人のご要望を出来る限りくみ取るよう努めています。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | トイレ、お風呂の場所は掲示しています。季節の飾りつけなどしています。 | 利用者の習字や塗り絵作品、手作りカレンダーを掲げ、全体に親しみやすい雰囲気が漂っている。「やっぱり神さんは居らんなあ」神棚にご飯を供えて皆で拝む。信心深い高齢者の気持ちを大切にされた配慮もあった。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | こたつで横になったり、ソファに座りくつろいだりすることができます。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に馴染みの品物を持参下さるよう説明しています。 | 塗り絵カレンダーや花を飾る人、タンス・鏡台・整理ケースを持ち込む人も居て、その人らしい居室になっていた。「布団干したら気持ちいい」天気の良い日は窓からの布団干しを日課にしている人もいる。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 一人ひとりに添った環境作りに心がけています。 | | |